



福岡市社会福祉協議会
マスコットキャラクター
ここと



社会福祉法人福岡市社会福祉協議会

城南区社協事務所 (城南区社会福祉協議会)

福岡市城南区鳥飼5-2-25 城南区役所別館1階

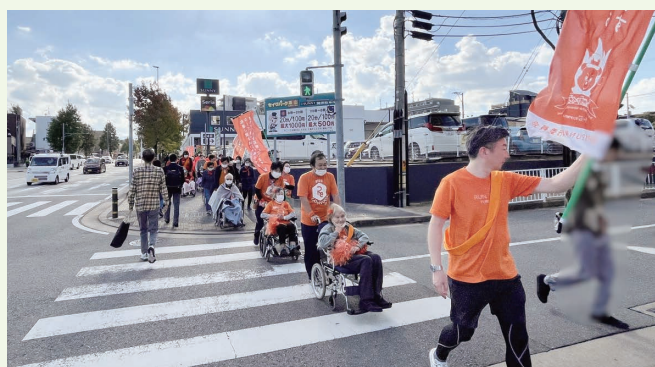
TEL: 092-832-6427 FAX: 092-832-6428

Eメール: jounanku@fukuoka-shakyo.or.jp

認知症啓発イベントRUN伴2025を 開催しました!

「RUN伴」とは、認知症の方や家族、支援者、その他多くの地域の方がタスキをつなぎゴールを目指す、認知症の啓発イベントです。今年度は、福岡市各区全体の取り組みとして、令和7年11月1日に実施しました。

城南区では介護施設や公民館など、計4カ所から出発し、サンカルナ福岡城南(住宅型有料老人ホーム)に集合した後、ゴールの白熊園(特別養護老人ホーム)を目指しました。



▲みんなでゴールを目指します

白熊園ではゴールイベントとして、城南高校吹奏楽部による演奏や参加施設によるギター演奏が披露されました。演奏を聴くだけでなく、当事者の方たちも一緒に歌い、手拍子をして、大盛況のイベントとなりました。



▲吹奏楽部の演奏



▲ギター演奏!みんなで手拍子

RUN伴は、介護事業所やボランティア有志の皆さんで企画・実施しています。

来年度もこのイベントを実施する予定です。企画からご協力いただける介護事業所、ボランティアを随時募集しておりますので、お問い合わせは城南区社協までご連絡ください。



▲全員集合!

令和7年度運営・企画協力事業所

白熊園、ウエストライフ南片江、多機能型サービスめおといわ「つむぐ」、ケアタウン茶山、ケアプランセンターうさぎ、七隈の里、ありえすケアプランサービス、サンカルナ福岡城南(順不同)

災害時の円滑な支援のために 個別避難計画作成ワークショップ実施中

個別避難計画とは、避難行動要支援者(※)について、「誰が安否確認や避難のサポートをするか」「支援の内容や避難先をどうするか」などを平時から決めておく計画書です。

計画作成は、地域で見守り活動に取り組む方と協力して行ないます。そのサポートとして、令和7年度城南区社協では、城南区内4校区・地区で各2回のワークショップを実施しています。

ワークショップでは、災害時の避難支援体制づくりの必要性などについて、城南区社協職員が説明を行ない、校区・地区によっては実際に計画書を作成しました。

今後は校区・地区の実情に合わせた活用ができるように、地域のみなさまと話し合いながら計画書の作成を進める予定です。

【各校区・地区の実施状況】

別府校区： 9月24日(次回2月予定)

田島校区： 10月19日(次回1月予定)

堤 地 区： 10月22日(次回2月予定)

金山校区： 11月12日(次回2月予定)

(※)避難行動要支援者

自ら避難することが困難で、円滑・迅速な避難の確保をするために特に支援を要する人



▲別府校区のワークショップの様子

災害に備えてみんなで体験学習! ～城南校区災害食づくり～

令和7年6月28日、城南校区社協主催の「災害食づくり」が城南公民館で開催されました。

はじめに城南区総務課防災安全・安心係による防災講話がありました。災害が起きた際のシミュレーション映像や避難に関する話に、参加者は聞き入っていました。

災害食のメニューは、湯煎で作るカレーと蒸しパンです。調理器具が限られる災害時でも美味しく食べられます。カレーにはツナ缶を、蒸しパンにはバナナを入れ、よりおいしく効率的に栄養が摂取できるよう工夫がされています。

参加者からは、「防災の講話を聞いて、家でも災害に備えなければいけないという意識ができた」「災害食を手軽に作ることができて美味しかった」といった声も聞かれ、防災意識が高まった様子でした。



▲災害食のカレーと蒸しパンをつくる様子